

定置用燃料電池システムにおける発電2万時間の達成について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、財団法人新エネルギー財団が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構から助成を受けて実施する「定置用燃料電池大規模実証事業」に2005年度から参画し、これまでに定置用燃料電池システム「JOMO ECOCUBE」を104台設置しております。このたび、このうちの2台が発電2万時間を達成いたしました。
2. 今回、発電2万時間を達成したのは、当社が2005年度に設置した東芝燃料電池システム株式会社製の2台です。当該機は主要部品を交換することなく発電2万時間(発電量約8,400kWh)を達成したもので、一般家庭に設置した同社製の燃料電池システムにおいて初めてのことになります。
3. 運転2万時間を達成した「JOMO ECOCUBE」の仕様は次のとおりです。
 - (1) 定格発電容量: 700W
 - (2) 定格発電効率: 33%以上 (LHV)
※ LHV: Lower Heating Value (低位発熱量) の略
 - (3) 定格総合効率: 83%以上 (LHV)
 - (4) サイズ: (本体) H 885 × W 870 × D 400 (mm) (貯湯槽) 200リットル
 - (5) 重量: (本体) 170kg
 - (6) 燃料: LPガス
4. なお、当社は、本年度も燃料電池システム40台分の助成金交付の決定を受けております。

以上

● 【添付資料】「JOMO ECOCUBE」(写真)



「JOMO ECOCUBE」
(運転2万時間を達成した「JOMO ECOCUBE」と同型機)